

【質疑要旨】		報告者	まちづくり推進課	
名称	富士見市地域説明会(5日目)			
日時	令和2年9月30日(水) 19時00分～20時40分			
場所	諏訪小学校体育館			
出席者	説明担当員・ 質疑対応員	市長、副市長、教育長、各部長		
	事務局職員	政策企画課及びまちづくり推進課		

【意見・質疑応答】

■質問者

分野3 学校教育の「主な施策・取組」と「主な指標」の整合がとれていないように感じる。施策・取組と指標についての、それぞれは良いと思うが、学力の向上や職員の質の向上に向けての施策に取り組んだ成果を確認する指標が、アンケートによる学校に行くのが楽しいと回答した児童生徒の割合というのは、合致していないのではないか。

少人数学級制度や副担任制の導入はいかがか。

◆市長

ご指摘の通り、学力の向上ということであれば、点数を指標とする方がわかりやすいのですが、まずは、「学校に行きたい」と思える環境づくりが勉強への関心や友達とのふれあいを育むためには必要だと考え、そのような指標としました。

少人数学級制度や副担任制は、良い取組ですが、大変大きな予算がかかるため、市費でまかなうことが難しいのが実情です。そのため、文科省や埼玉県などに、予算処置をお願いすることが必要です。すぐにできる取組として、市民の皆様をはじめとした、スクールサポートスタッフの配置を行っています。学校教育の充実については、引き続き取り組んでまいります。

◆教育長

子供たちひとりひとりに寄り添って教育をさらに充実させるためには、教員の数を増やすということが抜本的な改革になると、私どもも思っております。これについては、教育長会を通じて、国・県に要望を行っています。

本日の説明では割愛していますが、知・徳・体がバランス良く成長することは大切なことだと捉えており、計画書には細かな計画についても載っておりますので、市HP等でご覧いただければと思います。

市ができることとしては、支援員を増やし、教員をサポートする姿勢で取り組んでまいりますので、ご理解をいただければと思います。

■質問者

防災について、災害時にはお互い助け合おうという話をしている。そのためには、防災の技術を持っている人を育てることが重要である。例えば、災害時にブルーシートがあっても、屋根にかけられる技術がない。防災の技術を持っている人と提携しているなどの情報があれば教えてほしい。

◆市長

災害から身を守ることや災害後の復旧について、地域包括連携協定などを結んでいますが、建設や建築に対する技術については、まだ十分なものはありません。ご指摘いただ

いた内容をヒントと捉え、防災に関するまちづくり協議会をつくるなど、地域の中で様々な技術を教え合う仕組みを構築できればと考えます。また、仕組みづくりについては、市の役割だと思しますので、課題解決のために取り組んでまいります。

以 上